受付番号：
課題名：間質性肺炎合併小細胞肺癌の経過において、腫瘍と間質性肺炎の空間的近接性が与える影響

１．研究の対象
2019 年 10 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までに当該研究機関を受診し、小細胞肺がんと診断された方

２．研究期間
（研究実施許可日）～2029 年 3 月 31 日

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日
当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：　2026 年　月　日

４．研究目的
本研究では、間質性肺炎を合併した小細胞肺がんの患者さんの診療記録と治療前の CT 画像を用いて、がんと線維化した部分との位置関係を調べます。その位置関係が、治療効果、生存期間、がんが進行するまでの期間、治療中の間質性肺炎の悪化と関連するかを検討し、今後の治療方針を考えるための情報を得ることを目指します。

５．研究方法

本研究は、東京科学大学で、これまでの診療記録や検査結果、治療内容、CT 画像などを用いて行います。研究のために新たな検査や採血、追加の受診をお願いすることはありません。また、試料や情報を外部の機関に提供する予定もありません。

間質性肺炎を合併した小細胞肺がんの患者さんを中心に、がんが線維化した部分（肺の組織が硬くなった部分）に近い場合と離れている場合で、治療効果や生存期間などを比較します。また、同じ期間に診療を受けた、間質性肺炎を合併していない患者さんの情報も比較の参考にします。

がんの広がりに応じた「限局型」「進展型」の両方を対象とし、その違いを考慮して解析します。進展型の患者さんに限った解析も行います。

６．研究に用いる試料・情報の種類
情報：病歴、治療歴、CT 画像、副作用等の発生状況　等
試料：なし

７．外部への試料・情報の提供
該当無し

８．研究組織
本学単独研究

９．利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は科学研究費助成事業からの研究費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

１０．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 呼吸器内科　望月晶史
連絡先：03-3813-6111
mochizuki.pulm@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学病院 呼吸器内科　望月晶史

１１．苦情窓口

東京科学大学　研究推進部研究基盤推進課　生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）